

# 「地域完結型医療の実現を目指して」

平成20年4月8日  
「安心と希望の医療確保ビジョン」検討会  
社会福祉法人 關 済生会熊本病院  
院長 須古 博信

# 本日の内容

- 熊本の連携医療の現況
- 病診(病)連携の課題
- 今後の対策

# 熊本市内の連携医療の特徴

- 基幹(中核)病院ごとに連携ネットワーク形成
- 病診連携→病病連携へ
  - 特に、亜急性期病床、回復期リハビリ
- 施設間連携→職種間連携へ
  - 情報提供の精密化
- 地域連携パスの共同作成・活発化

# 熊本市内の病院環境

青磁野  
リハビリテーション病院

## 回復期病院

地域連携クリティカルパス

国立病院機構  
熊本医療センター  
(550床)  
救命救急センター、DPC  
地域医療支援病院  
がん診療連携拠点病院

熊本機能病院

青ヶ塔病院

熊本大学附属病院  
(850床)  
熊本県がん診療連携拠点病院  
DPC対象病院

## 急性期病院

熊本赤十字病院  
(450床)  
救命救急センター、DPC  
がん診療連携拠点病院  
災害基幹病院

救急医療  
災害派遣

済生会熊本病院  
(400床)  
地域医療支援病院、DPC  
がん診療連携拠点病院  
災害拠点病院

救急医療  
頭と心臓

国家公務員共済  
熊本中央病院  
(363床)  
DPC対象病院

熊本市民病院  
(580床)  
がん診療連携拠点病院  
DPC対象病院

熊本リハビリテーション  
病院

桜十字病院

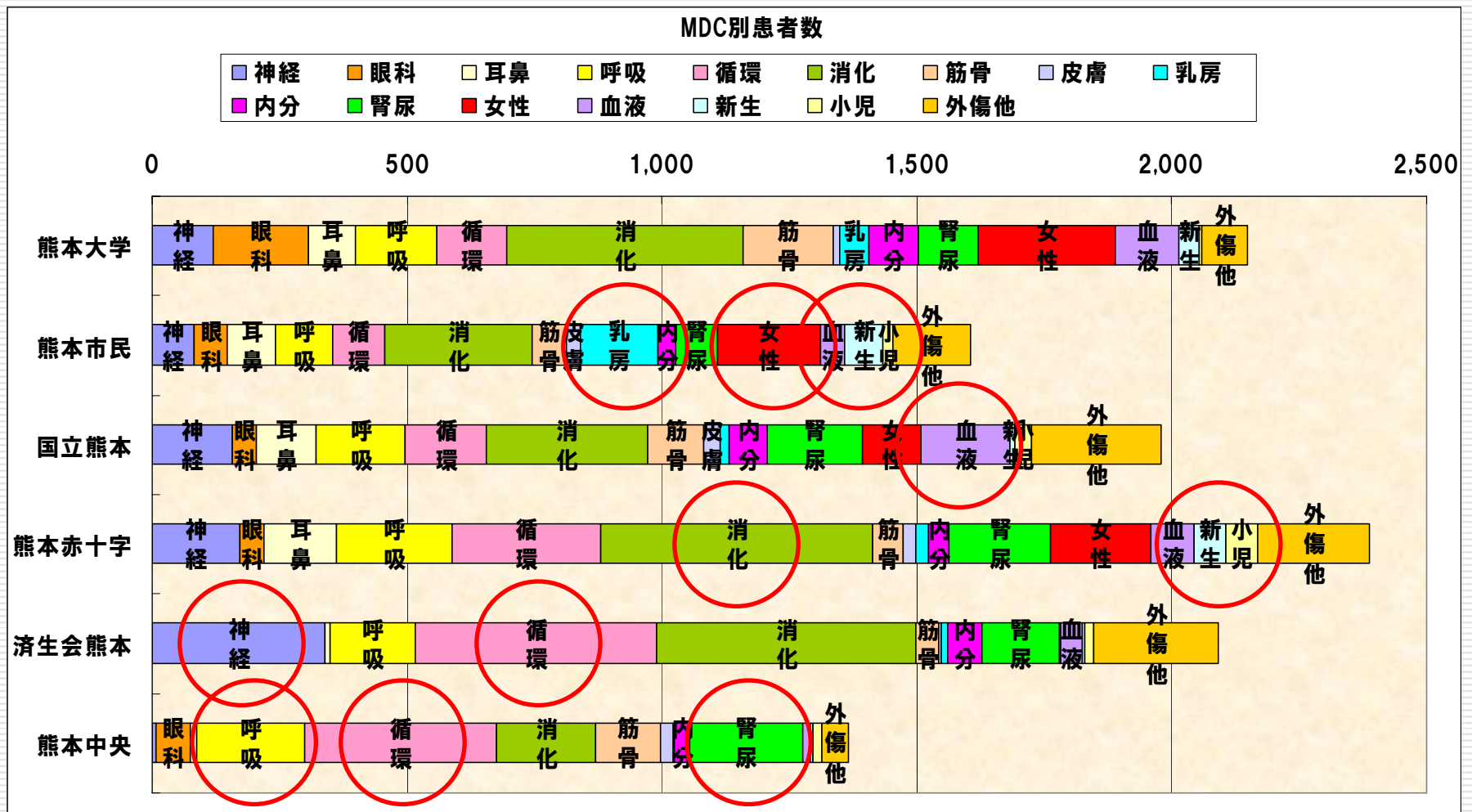
入院特化、紹介の優遇

周産期・小児医療

回生会病院

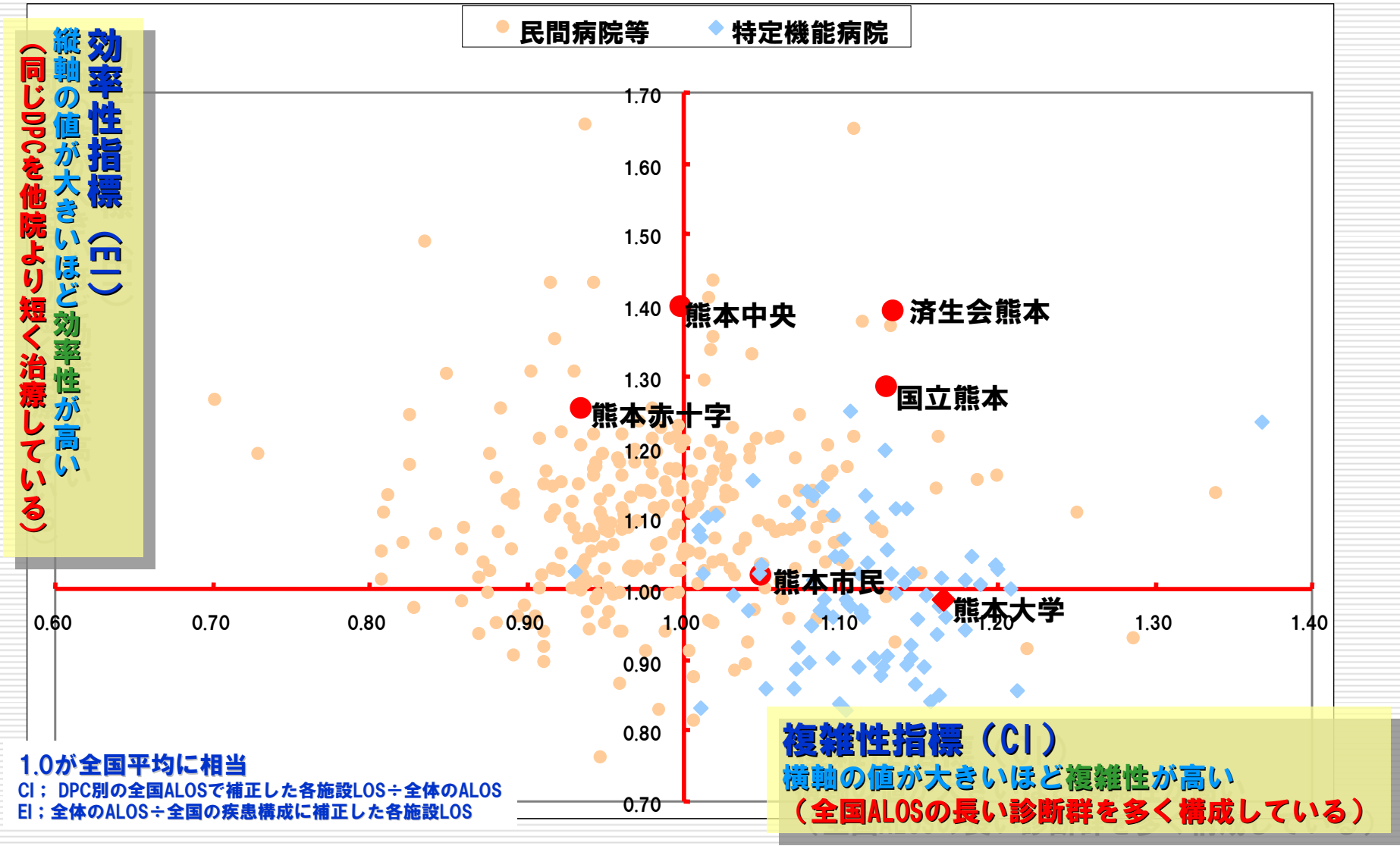
託麻台病院

# 入院患者数比較（総数）



出典：厚生労働省19年度DPC調査結果  
7月～8月退院患者

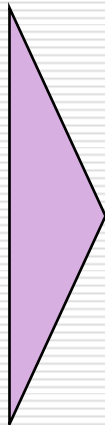
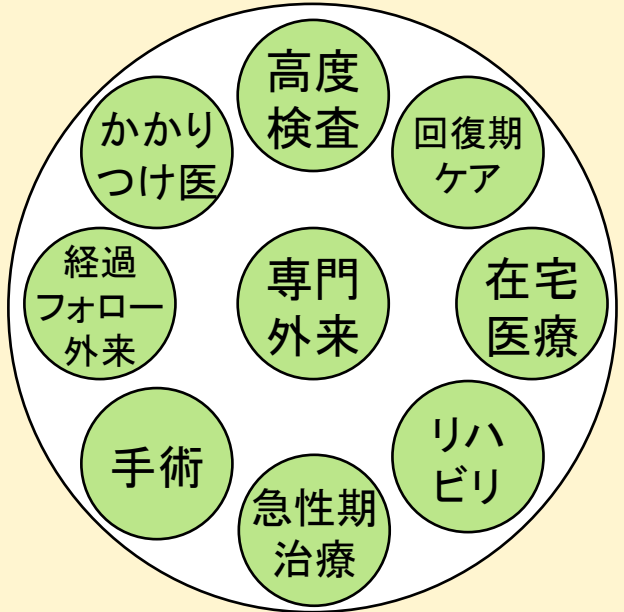
# DPCデータによる病院機能の比較



# 医療のネットワーク

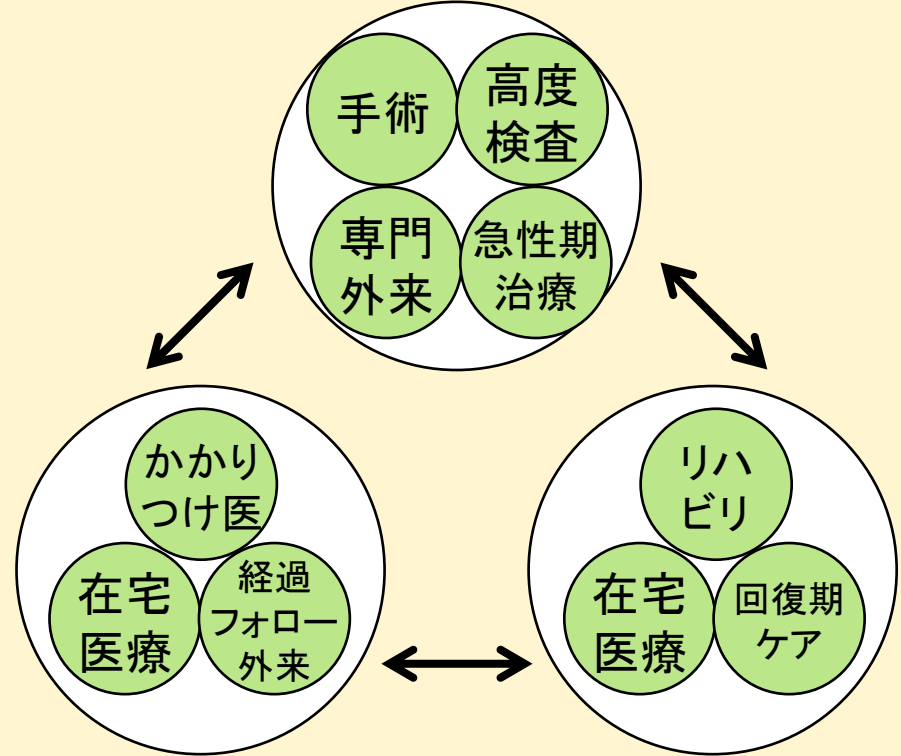
全てのひとつの病院で行う  
「自己完結医療」

総合病院



それぞれの得意分野を活かす  
「地域完結医療」

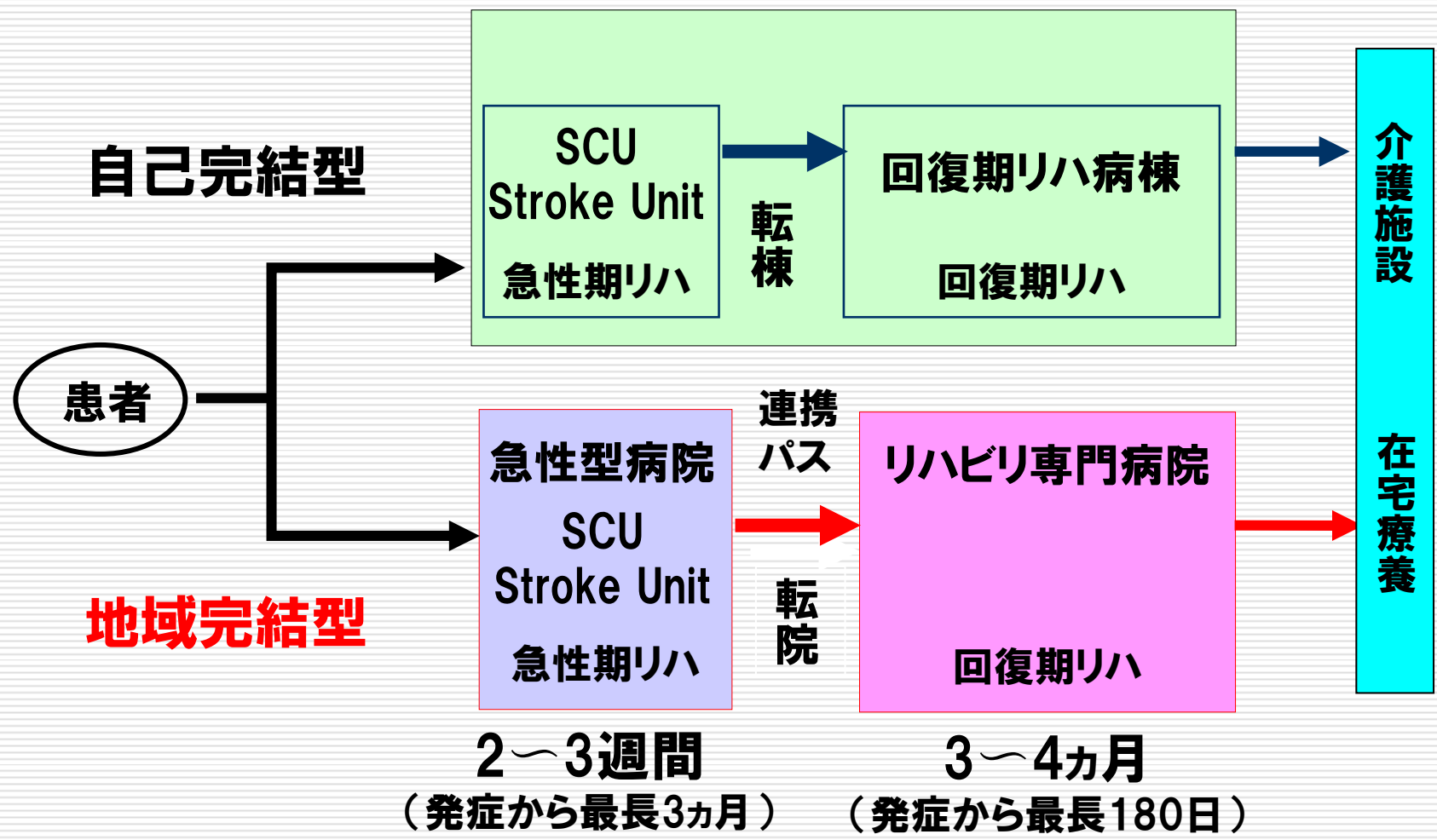
急性期病院(済生会熊本病院)



地域の診療所

回復期病院

# 「脳梗塞」患者の診療体制



お互い得意な機能を高め、その道を患者が通る



# 連携パスの動向

## 連携パスの例

- 急性心筋梗塞(AMI)
- 人工骨頭置換術
- くも膜下出血(脳卒中)
- 慢性腎不全の導入期
- 糖尿病連携パス

# 連携パス作成関連施設

## シームレスケア研究会

- ・ 計画病院: 国立医療センター  
                  済生会熊本病院
- ・ 熊本回生会病院
- ・ 熊本機能病院
- ・ せいじのリハビリテーション病院
- ・ にしくまもと病院
- ・ 外間整形外科病院
- ・ 菊南病院
- ・ メディカルケアセンターファイン
- ・ 御幸病院
- ・ 江南病院

## 地域連携医療情報交換会

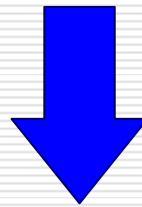
- ・ 計画病院: 済生会熊本病院
- ・ あきた病院
- ・ セントラル病院
- ・ 済生会みすみ病院
- ・ 聖ヶ塔病院
- ・ 南部中央病院
- ・ 南熊本病院
- ・ 東病院
- ・ あけぼのクリニック
- ・ いずみ整形外科
- ・ 井上病院
- ・ 宇賀岳病院

## 脳血管疾患の障害を考える会

- ・ 計画病院: 熊本市民病院

# 今後の病診(病)連携の課題

## 連携ネットワークの構築



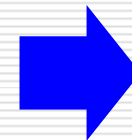
## 連携のマネージメント

# 連携ネットワークの質の管理

- **情報の共有化・発信**
  - 連携パス
  - 診療情報提供書の充実  
(ケア・キュアの連続性を視点に置いたフォーマット開発等)
  - 「情報共有紙」  
(地域内での機能分化された医療機関機能情報の共有化)
  - 「診療体制のご案内」(高度専門医療のブランディング)
- **連携データの細分化・分析**
- **教育・研修の受け入れの促進(地域医療の質の向上)**
- **相互評価・協議をする場の企画・運営**

# 連携医療とは

1. 患者本位
2. **コミュニティの健康を守るという考え方**  
**保健・医療・福祉・行政のより密接な連携**
3. 自己完結から地域完結型へ
  - ① 疾病管理(診療の継続性):連携パス
  - ② 施設間連携から職種間連携の強化へ
  - ③ 機能分化と役割分担の徹底
4. **ネットワークによる情報の共有**  
**(对患者、対関係機関、対医療関連従事者)**  
ITの利用  
連携の質の管理



地域医療の質の向上



患者・家族の満足

# 今後の対策

## □ 機能重視の連携体制構築

### ■ 地域医療支援病院協議会の立ち上げ

- 行政(保健所・県)がまとめ役となり、地域の特性を活かす

### ■ 救命救急体制

1. 高度・急性期 総合病院
2. 周産期、小児中心
3. 成人病中心

## □ 情報集約とその活用

### ■ 集約して現場にフィードバックするシステムがない

- 第5次医療計画に期待

# 補足資料1:病院概要

敷地面積	敷地面積 57,513㎡ 延床面積 79,359㎡			
許可病床数	400床(うち169室個室) 特定集中治療室(ICU/CCU)20床、HCU28床(NCU10床) 開放型病床10床、人間ドック宿泊用12床			
標榜科	内科、外科、脳神経外科、整形外科、循環器科、消化器科 心臓血管外科、呼吸器科、神経内科、麻酔科、放射線科			
診療体制	脳卒中センター、心臓血管センター、消化器センター、外科センター 腫瘍・糖尿病センター、脊椎・関節外科センター、 腎・泌尿器センター、呼吸器センター、健診センター			
職員数	1,228名 (正職員 813名、嘱託・臨時職員 160名、委託職員 255名)			
	医師	147名	看護師	478名
	放射線技師	36名	薬剤師	23名
	臨床工学技士	36名	臨床検査技師	67名
	理学療法士	7名	言語聴覚士	1名
	管理栄養士	10名	事務職	239名
	MSW	5名	その他	179名

# 補足資料2：済生会熊本病院の特徴

## 1.急性期型病院に特化

ICU－20床、HCU－28床 平均在院日数11.0日（H19年度）

## 2.救急医療に注力

専門救急 救急車搬入数7,000台 Mobil－CCUの稼働 ヘリポート

## 3.高度・専門医療の提供

臓器別診療センター方式 成人病治療 がん治療

## 4.地域医療連携の積極的推進

地域完結型 紹介率 約55% 逆紹介率 約120%

## 5.予防医学への努力

人間ドック・専門ドック

管理型臨床研修病院	H15年10月～
DPC対象病院	H18年12月～
地域医療支援病院	H18年 5月～
地域がん診療連携拠点病院	H20年 2月～



# 補足資料3:連携のための組織体制

